

## 平成27年度事務事業評価シート（平成26年度決算）

事業コード	1810 - 1 -	作成者氏名	中原 権司	連絡先	0833-74-5601
事務事業名	光地区消防組合負担金	担当課	消防本部総務課		
予算費目	一般会計	款 9	消防費	項 1	消防費
総合計画 後期 基本計画	基本目標 重点目標 政 策	コ ー ド	Ⅲ 3 2	項 目	人の暮らしを支えるまち 安全な暮らしを守るために まちの安全を守る消防・救急体制の充実
					総合計画 後期基本計画 174 頁

対象	市民、光地区消防組合	意図 (対象をどのようにしたいのか)	消防組織法で定める「市町村の消防責任」及び「消防機関の設置義務」を果たすため、光地区消防組合に加入し、市民の生命、身体及び財産を災害から保護する。
事務事業の概要	光地区消防組合の消防力の充実と強化を図り、市民の生命、身体及び財産を災害から守り、誰もが安心して暮らせるよう光地区消防組合に対して負担するもの。		

事務事業の成果指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度			27年度目標	類似団体等の実績値等
				実績	目標	達成度		
光市内の救急等出動件数	回	2,489	2,321	2,403	—	—	—	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）						業務評価	重点業務
		指標名	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度目標		
		事業費	単位	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算		
1	光地区消防組合負担金支出業務 ●	光市内出動件数 (火災) (救急) (救助)	件	22 2,489 27	18 2,321 24	29 2,403 31	—	A	
		事業費	千円	707,015	683,793	657,961	588,182		
2		事業費	千円						
3		事業費	千円						
4		事業費	千円						
5		事業費	千円						
6		事業費	千円						
7		事業費	千円						
8		事業費	千円						
9		事業費	千円						
10		事業費	千円						
11		事業費	千円						
12		事業費	千円						
13		事業費	千円						
14		事業費	千円						
15		事業費	千円						
直接事業費の合計（千円） A				707,015	683,793	657,961	588,182		
職員人件費等		業務量（人工数）					【業務評価】 A 現状維持・拡充 B 改善 C 縮小・抜本的見直し D 休廃止・統合・完了		
		人件費（千円） B							
人件費を含む総事業費（千円） A + B				707,015	683,793	657,961			
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金		19	35	47			
		地方債							
		その他							
一般財源				706,996	683,758	657,914			

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由  
 法定受託業務のため重点化することができない。

◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 光地区消防組合は、地方自治法第284条の規定に基づき2市1町で構成されている一部事務組合で、この組織が効果的に機能することで市民の生命、身体及び財産を災害から保護するという「市町村の消防責任」を果たしている。平成26年度は、光市内で2,403件の救急出動等に対応している。
事務事業を構成する業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 光地区消防組合に対して光市の負担分を支出する業務のみで構成されているが、事務事業の意図から適切である。
実施主体の妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 光地区消防組合の規約に基づき光市が負担するものであり妥当である。

◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由

事務事業の意図を達成するための具体的な改善提案（内容、予定時期等）

予算の増減を伴わず実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う改善提案	

◆事務事業の方向性◆

事務事業執行責任者（課長名）	梅本 利明
事務事業の今後の方向性	光市の消防責任を果たすため必要な事業であり、各種災害に適切に対応できるよう限られた予算で効率的に消防力の充実強化を図る必要がある。

最終評価責任者（部長名）	小松 和司
部長意見欄	消防事務の共同処理を目的とした一部事務組合に加入し、運営費用の一部を負担するもので、スケールメリット（規模効果）により、効果的に消防力の充実・強化が図られていることから、今後も本事業を継続することが妥当である。

## 平成27年度事務事業評価シート（平成26年度決算）

事業コード	1810 - 2 -	作成者氏名	中原 権司	連絡先	0833-74-5601
事務事業名	消防団管理運営事業		担当課	消防本部総務課	
予算費目	一般会計	款 9 消防費	項 1 消防費	目 2 非常備消防費	
総合計画	基本目標	Ⅲ 項目 3 2	人の暮らしを支えるまち 安全な暮らしを守るために まちの安全を守る消防・救急体制の充実		総合計画 後期基本計画 174頁
後期	重点目標				
基本計画	政 策				
対象	市民、消防団員		意図 (対象をどのようにしたいのか)	消防団員が各種災害現場において、その機能を十分に発揮できるよう消防団活動の円滑な推進を図る。また、魅力ある消防団となるよう運営を行い、団員の確保に努める。	
事務事業の概要	消防団員530人（条例定数）の運営管理を実施し、各種災害に対して確実かつ迅速な活動ができるよう、消防装備や団員に対する処遇の充実を図る。また、消防団員数の維持に努める。				

事務事業の成果指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度			27年度目標	類似団体等の実績値等
				実績	目標	達成度		
消防団員の充足率 (実員÷条例定数(530))	%	99.4	100	100	100	100.0%	100	
消防団火災出動件数	件	8	3	5	—	—		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）							業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	24年度実績 24年度決算	25年度実績 25年度決算	26年度実績 26年度決算	27年度目標 27年度予算			
1	消防団報酬支払業務	支給人数 事業費	人 千円	532 18,647	537 18,668	534 18,859	— 18,867	A		
2	消防団員福利厚生業務	給付件数 事業費	件 千円	3 2,120	6 1,590	5 1,590	— 1,590	A		
3	退職報償金支払業務	支給人数 事業費	人 千円	27 14,244	19 7,043	21 8,637	5 2,333	A		
4	消防団災害出動費用弁償支払業務	延べ出動人員 事業費	人 千円	767 5,159	987 6,609	849 5,783	— 4,878	A		
5	消防団員育成・教育業務	延べ出動人員 事業費	人 千円	2,311 14,325	2,163 11,332	2,337 14,485	— 16,433	B	○	
6	消防団装備等配備業務	事業費	千円	2,292	2,965	3,056	19,105	A	◎	
7	消防団機庫維持管理業務	事業費	千円	311	313	322	372	A		
8	消防団車両・装備維持管理業務	事業費	千円	1,717	1,737	1,685	1,943	A	○	
9	消防団員健康管理業務	受診者数 事業費	人 千円	35 424	30 363	28 333	37 410	A		
10	消防出初式運営業務	出動団員数 事業費	人 千円	310 298	300 162	322 191	371 157	A		
11	消防団員広報業務	更新件数 事業費	件 千円	20 0	20 0	17 0	30 0	A		
12	消防団研修派遣業務	入校者数 事業費	人 千円	6 39	7 83	8 84	9 116	A		
13	消防団員表彰業務	被表彰者数 (延べ数) 事業費	人 千円	136 42	139 68	118 167	150 63	A		
14	災害補償・賠償補償業務	申請件数 事業費	千円	0 78	0 53	0 53	— 53	A		
15	消防団員等公務災害補償に関する業務	公務災害件数 事業費	千円	0 1,193	0 1,193	0 1,193	— 1,193	A		
16	消防団退職報償金掛金業務	退職消防団員数 (支給対象者) 事業費	千円	27 10,176	19 10,176	21 10,176	— 10,176	A		
17	山口県消防協会負担金	事業費	千円	273	273	274	276	A		
18	周南都市消防連絡協議会業務	会議開催数 事業費	千円	1 6	1 6	1 6	1 6	A		
19	消防団無線維持管理業務	点検回数 利用料台数 事業費	千円	2 — 837	2 — 835	2 — 851	1 127 979	A		
20	サイレン吹鳴装置保守管理業務	点検件数 事業費	千円	12 484	12 479	12 326	— —	D		
直接事業費の合計（千円） A				72,665	63,948	68,071	78,950			
職員人件費等		業務量（人工数）		—	—	—				
		人件費（千円） B		—	—	—				
人件費を含む総事業費（千円） A+B				72,665	63,948	68,071				
財源内訳		国庫支出金								
		県支出金								
		地方債					1,400			
		その他			14,499	8,187	9,333			
		一般財源			58,166	55,761	57,338			

- 【業務評価】
- A 現状維持・拡充
  - B 改善
  - C 縮小・抜本的見直し
  - D 休廃止・統合・完了

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
近年多発している大雨による災害や今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震等に対応できる消防防災体制の整備が必要とされているため。

◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 消防団員数の充足率は100%を確保している。一方、消防団員の高齢化が進んでおり、今後、若年層の入団促進を図る必要がある。
事務事業を構成する業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 いずれも消防団活動の運営に有効であり、不可欠である。
実施主体の妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 消防団の運営や消防団員の現場活動、法令で定める退職報償金の支給及び公務災害補償に関する内部事務のため、市が実施することが妥当である。

◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
消防団無線の更新整備	消防団が使用しているアナログ式の無線が平成28年5月末をもって使用期限を迎えることから、デジタル式の無線に更新し、災害活動を迅速的確かつ安全に行えるよう情報通信網を整備する。
救命胴衣の購入	消防団員が水害時に活動する際の安全を確保するため整備する。
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由

事務事業の意図を達成するための具体的な改善提案（内容、予定時期等）

予算の増減を伴わず実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う改善提案	

◆事務事業の方向性◆

事務事業執行責任者（課長名）	梅本 利明
事務事業の今後の方向性	災害時には、消防団の特性を活かした活動は重要であり、安心して活動ができるよう福利厚生業務は継続すると共に、安全な活動が行えるよう資機材の維持管理を行うため事業を展開していく。

最終評価責任者（部長名）	小松 和司
部長意見欄	消防団は、地域住民で編成され、災害が発生した場合に地域で即時に対応することができる消防機関として、地域防災力の中核を成している。平成26年度の事務事業は各業務とも適切に実施されており、消防団の充実強化に効果を上げている。

## 平成27年度事務事業評価シート（平成26年度決算）

事業コード	1810 - 3 -	作成者氏名	中原 権司	連絡先	0833-74-5601
事務事業名	消防団施設事業	担当課	消防本部総務課		
予算費目	一般会計	款 9	消防費	項 1	消防費
総合計画 後期 基本計画	基本目標 重点目標 政 策	コ ー ド	Ⅲ 3 2	項 目	人の暮らしを支えるまち 安全な暮らしを守るために まちの安全を守る消防・救急体制の充実
					総合計画 後期基本計画 174 頁

対象	消防団員、消防職員、市民	意図 (対象をどのように したいのか)	消防車両の更新や消防機庫の管理を行い、災害発生時の迅速な出動体制を維持するとともに、円滑な消防活動ができる環境を整える。
事務事業 の概要	消防団施設の維持管理を適正に行うことで、災害時の円滑な活動を促進する。		

事務事業の成果指標	単位	24年度 実績	25年度 実績	26年度			27年度 目標	類似団体等 の実績値等
				実績	目標	達成度		
消防団施設数	箇所	12	12	12	—	—	—	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	●	活動指標・事業費（千円）					業務 評価	重点 業務		
			指標名	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績			27年度目標	
			事業費	単位	24年度決算	25年度決算	26年度決算			27年度予算	
1	消防車両更新業務	●	車両更新数	台	1	1	1	1	A	◎	
			事業費	千円	7,035	7,822	5,817	6,100			
2	消防団施設維持管理業務	●	修繕件数	件	15	3	22	—	A	○	
			事業費	千円	320	367	787	1,030			
3			事業費	千円							
4			事業費	千円							
5			事業費	千円							
6			事業費	千円							
7			事業費	千円							
8			事業費	千円							
9			事業費	千円							
10			事業費	千円							
11			事業費	千円							
12			事業費	千円							
13			事業費	千円							
14			事業費	千円							
15			事業費	千円							
直接事業費の合計（千円） A						7,355	8,189	6,604	7,130		
職員人件費等		業務量（人工数）			—	—	—				
		人件費（千円） B			—	—	—				
人件費を含む総事業費（千円） A + B						7,355	8,189	6,604			
財源内訳		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債			5,200	7,200	1,900				
		その他									
		一般財源			2,155	989	4,704				

【業務評価】  
A 現状維持・拡充  
B 改善  
C 縮小・抜本的見直し  
D 休廃止・統合・完了

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由  
 車両の更新については、車両整備計画に基づき実施しているところである。今後も地域の地理的条件等に応じて、車両の形状や装備品の見直しを行い更新を行っていく必要がある。

◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 車両の更新業務については、車両整備計画に基づき実施しており平成26年度は岩田地区を管轄する第9分団の車両の更新を行った。その結果、団員の士気も高まり更なる地域防災力の向上に繋がっている。また消防団施設は、主に災害時に使用するものであり維持管理を適切に行うことで迅速的確な活動を可能にしている。
事務事業を構成する業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 消防団の災害活動を迅速的確に行え、地域の災害防除のため車両の更新と施設の維持管理は有効である。
実施主体の妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 消防団の活動を支える施設の維持管理に係る事務事業であり、市が実施することが妥当である。

◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由

事務事業の意図を達成するための具体的な改善提案（内容、予定時期等）	
予算の増減を伴わず実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う改善提案	

◆事務事業の方向性◆

事務事業執行責任者（課長名）	梅本 利明
事務事業の今後の方向性	消防車両の更新は、装備の充実のため必要な事業であるが、限られた財源を有効に活用するため、耐用年数、長期使用による老朽化等を勘案し慎重に見極める必要がある。

最終評価責任者（部長名）	小松 和司
部長意見欄	消防車両については、概ね順調に更新整備が図られている。消防団機庫については、消防車両の車庫、資機材の保管場所及び団員の待機スペースなどの機能が求められているが、極端に手狭な分団機庫については、今後の改善が課題である。

## 平成27年度事務事業評価シート（平成26年度決算）

事業コード	1810 - 4 -	作成者氏名	中原 権司	連絡先	0833-74-5601
事務事業名	消防水利管理事業		担当課	消防本部総務課	
予算費目	一般会計	款 9	消防費	項 1	消防費
総合計画 後期 基本計画	基本目標 重点目標 政 策	コ ー ド 2	Ⅲ 3 2	項 目	人の暮らしを支えるまち 安全な暮らしを守るために まちの安全を守る消防・救急体制の充実
					総合計画 後期基本計画 174 頁

対象	消防団員、消防職員、市民	意図 (対象をどのように したいのか)	消防水利の充実を図り、迅速かつ円滑な消防活動が実施できるようにする。
事務事業 の概要	年次計画に基づき、水利が不足している地域への消火栓又は防火水槽の設置と水道局が行う配水管敷設工事に併せて老朽等した消火栓の修繕を行うもの。		

事務事業の成果指標	単位	24年度 実績	25年度 実績	26年度			27年度 目標	類似団体等 の実績値等
				実績	目標	達成度		
消火栓数	基	798	800	808	801	100.9%	809	
防火水槽数	基	122	123	124	125	100.0%	126	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）						業務 評価	重点 業務	
		指標名	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度目標			
		事業費	単位	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算			
1	消火栓新設業務	●	設置数	基	6	2	1	0	A	
			事業費	千円	2,596	853	940	0		
2	防火水槽設置業務	●	設置数	基	1	1	2	0	A	
			事業費	千円	8,663	5,355	14,064	0		
3	消火栓修繕業務	●	修繕箇所	基	15	21	21	17	A	◎
			事業費	千円	5,805	8,418	7,895	9,100		
4	消火栓・防火水槽標識修繕業務	●	修繕件数	件	90	140	94	30	A	○
			事業費	千円	339	569	722	990		
5	消火栓・防火水槽路面標示業務	●	標示箇所	件	0	0	50	20	A	○
			事業費	千円	0	0	296	130		
6	新設消火栓標識設置業務	●	設置数	基	4	0	0	0	A	
			事業費	千円	596	0	0	0		
7			事業費	千円						
8			事業費	千円						
9			事業費	千円						
10			事業費	千円						
11			事業費	千円						
12			事業費	千円						
13			事業費	千円						
14			事業費	千円						
15			事業費	千円						
直接事業費の合計（千円）			A		17,999	15,195	23,917	10,220		
職員人件費等		業務量（人工数）			—	—	—			
		人件費（千円）	B		—	—	—			
人件費を含む総事業費（千円）			A + B		17,999	15,195	23,917			
財源内訳		国庫支出金				2,618	5,236			
		県支出金								
		地方債			6,000	2,300	4,700			
		その他								
		一般財源			11,999	10,277	13,981			

【業務評価】  
A 現状維持・拡充  
B 改善  
C 縮小・抜本的見直し  
D 休廃止・統合・完了

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由  
 消火栓の修繕については、毎年、水道局が行う配水管敷設工事と併せて実施しており、消火栓単独の修繕を行うのに比べ経費を抑えることができる。また、毎年、修繕を行うことで迅速な消火活動を可能にしている。防火水槽については、整備計画に基づき水利が不足している地域に隔年設置することとしている。

◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。
	新たに防火水槽を2基設置したことにより、設置した周辺の火災に迅速に対応することが可能になった。
事務事業を構成する業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。
	消防団の消火活動が迅速に行え、かつ地域の災害防除のため消火栓の修繕や防火水槽の設置は有効である。
実施主体の妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。
	火災時の迅速な活動を行うため、消防水利を設置・管理することは、光市の役割として妥当である。

◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
防火水槽鉄蓋改修業務	市民が容易に開閉可能である簡易的な蓋が防火水槽に設置されており、自動鍵付き丸蓋へ改修することにより、落下事故等の防止を図る。（光市 岩田地内1箇所、三輪地内1箇所）
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由

事務事業の意図を達成するための具体的な改善提案（内容、予定時期等）

予算の増減を伴わず実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う改善提案	

◆事務事業の方向性◆

事務事業執行責任者（課長名）	梅本 利明
事務事業の今後の方向性	消防水利の整備は、火災時の被害の軽減を図るため必要な事業であり、防火水槽の設置については、財政的な負担を軽減するためにも活用できる補助等の財政支援の活用を検討し継続していく。

最終評価責任者（部長名）	小松 和司
部長意見欄	消火栓や防火水槽は、消火活動上、重要な施設であり年次的に整備する必要がある。平成26年度については、消火栓1基と防火水槽2基を新設するとともに、老朽化した消火栓21基の修繕を行うなど各業務を通じて消防水利の一層の充実を図ることができた。



## 平成27年度事務事業評価シート（平成26年度決算）

事業コード	810 - 1 -	作成者氏名	弥益 哲也	連絡先	0833-72-1400
事務事業名	水防事業	担当課	道路河川課		
予算費目	一般会計	款 9	消防費	項 1	消防費
目 4	水防費				
総合計画 後期 基本計画	基本目標 重点目標 政 策	コ ー ド 1	Ⅲ 3 1	項 目	人の暮らしを支えるまち 安全な暮らしを守るために 想定外をも想定した地域防災対策の推進
					総合計画 後期基本計画 170 頁

対象	市民	意図 (対象をどのように したいのか)	洪水や高潮などの水災による被害を最小限に抑える。
事務事業 の概要	光地域防災計画に定められている水防資材の備蓄を確保する。出水期前には職員で土嚢を作成する。水災が予想される場合など、必要に応じて希望する市民へ土嚢を支給する。		

事務事業の成果指標	単位	24年度 実績	25年度 実績	26年度			27年度 目標	類似団体等 の実績値等
				実績	目標	達成度		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）						業務 評価	重点 業務
		指標名	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度目標		
		事業費	単位	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算		
1	水防業務	土嚢作成	袋	400	400	400	400	A	◎
		事業費	千円	72	87	210	341		
2		事業費	千円						
3		事業費	千円						
4		事業費	千円						
5		事業費	千円						
6		事業費	千円						
7		事業費	千円						
8		事業費	千円						
9		事業費	千円						
10		事業費	千円						
11		事業費	千円						
12		事業費	千円						
13		事業費	千円						
14		事業費	千円						
15		事業費	千円						
直接事業費の合計（千円） A				72	87	210	341		
職員人件費等		業務量（人工数）		0.20人	0.25人	0.25人			
		人件費（千円） B		1,469	1,761	1,789			
人件費を含む総事業費（千円） A + B				1,541	1,848	1,999			
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源			1,541	1,848	1,999		

【業務評価】  
A 現状維持・拡充  
B 改善  
C 縮小・抜本的見直し  
D 休廃止・統合・完了

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由 この事業は水防事業のみで構成されているが、事業を進めるうえで必要であるため。
---

◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 土のう等災害用の資材を常備しておくものであり、非常時において迅速な対応ができる。
事務事業を構成する業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 水防資材の備蓄を継続して行い、非常時において迅速な対応ができることから、業務の構成は有効と判断できる。
実施主体の妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 道路や河川を管理していることから、実施主体であることは妥当である。

◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由

事務事業の意図を達成するための具体的な改善提案（内容、予定時期等）

予算の増減を伴わず実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う改善提案	

◆事務事業の方向性◆

事務事業執行責任者（課長名）	田村 格平
事務事業の今後の方向性	市民の安心・安全を確保するためには、常時資材を備蓄しておく必要があるため、今後も事業を継続していく。

最終評価責任者（部長名）	岡田 新市
部長意見欄	市民の生命・財産を守るため、水害等に備え、水防資機材等の備蓄について継続して取り組む。